

北海道クルーズ振興協議会総会を開催

～クルーズ客船の新規寄港誘致と定点クルーズ定着を目指して～

令和6年5月23日（木）、札幌第2合同庁舎9階講堂において、北海道クルーズ振興協議会第21回総会を開催しました。

冒頭、協議会会長である北海道運輸局 鶴山局長から「感染症の影響は薄れて来たが、旅行者の安全と安心が引き続き確保され、今後益々、楽しいクルーズの需要が高まることを期待している」との挨拶がありました。

本総会は37会員機関の出席のもと、令和5年度事業報告と令和6年度事業計画（案）の提案が行われ、満場一致で承認されました。

総会後は特別講演として、商船三井クルーズ株式会社執行役員 中嶋様より「日本のクルーズの今後」と題してご講演をいただきました。

講師からは、まずクルーズの起源から、現在に至るまでの歴史についてのお話がありました。そして、今後の展開について「需要はコロナ前までの水準にほぼ戻っており、世界的にカジュアルクルーズが増加していくであろう」との分析を示されました。

また、今年投入の新客船「MITSUI OCEAN FUJI（ミツイ・オーシャン・フジ）」の概要についての説明がありました。

今後、北海道クルーズ振興協議会では、今回承認された事業計画に基づきクルーズ振興を進めて参ります。また、関係機関の皆様と連携し北海道を発着する定点クルーズの定着に向け積極的に取組を『オール北海道』で進めて参ります。



北海道クルーズ振興協議会
鶴山会長挨拶



特別講演された商船三井クルーズ
株式会社の中嶋執行役員



特別講演の様子